

企業主導型保育広がる

待機児童解消を目的に政府が2016年度から始めた企業主導型保育事業が筑後地区で広がりを見せている。企業が従業員向けにつくる保育所に対して認可保育所並みの補助金を出す仕組みで、多くは地域枠を設けて企業外の子どもも受け入れている。筑後地区では昨年度末時点で16カ所が運営されており、本年度中にさらに7カ所が開所する。仕事と育児の両立だけにとどまらないメリットを探った。

(泉修平)

広川町の医療法人「八女す」。2歳の長男を預ける発心会」が運営する姫野病院の敷地内に今年3月オープンした「はなまる保育園」。現在、0〜4歳の50人を受け入れ、屋上の運動場では水遊びを楽しむ子どもたちの明るい声が響く。

医療法人の特性を生かして「近くに子どもがいるので安心して仕事ができる」と同保育園では歯科衛生士による歯磨き教室や入院患

姫野病院の「はなまる保育園」。屋上で子どもたちが元気に遊ぶ



保育時間を柔軟に 地域から受け入れ



学習塾の施設内に設置された「ありじゅくきつず」。近くの子どもたちも受け入れている

大牟田市の学習塾「有明塾」が運営する「ありじゅくきつず」は、女性講師の出産をきっかけに設置した。同塾の倉岡清見代表は「講師が働くのは夕方から夜間にかけて。認可保育所では仕事が終わる前に保育時間が終わってしまう」と

最大のメリットは働き方に応じて保育時間やサービ

ぶ本部ビル1階に教室を改装して整備したのが「ありじゅくきつず」。女性講師の出産をきっかけに設置した。同塾の倉岡清見代表は「講師が働くのは夕方から夜間にかけて。認可保育所では仕事が終わる前に保育時間が終わってしまう」と

担当は5%程度にとどま

筑後地区本年度中 23カ所に

企業主導型保育事業は、施設整備費の4分の3が助成される。運営費の企業負担は、

課題は保育士の確保。保育士は重い責任に見合わない低待遇を理由として資格



た。いずれも、近隣自治体の認可保育所に比べて長めに保育時間を設定しているという。

八女発心会は、既に12年から別の職員用保育所を運営してきた。出産や育児による離職が減少し、職員

昨年6月に開所し、主に0〜2歳を預かる。連携企業や地域枠を設け、定員12人は満員。「教育に携わる企業として子育てに理解を示すのは大事なこと。特に0、1歳児は預け先が少なく困っている人は少なくない。近隣の子どもも受け入れることで地域貢献にもつながれば」と期待する。

竹下勝博事務局長は「経験豊富な職員が働き続けられる環境を整えることは、病院の信頼にもつながる」と強調する。